

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 5 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H00620

研究課題名(和文) アフリカ・アジア諸国における教育の普遍化と格差に関する国際比較研究

研究課題名(英文) International Comparative Study on the Universalization and Disparities of Education in African and Asian Countries

研究代表者

澤村 信英 (Sawamura, Nobuhide)

大阪大学・大学院人間科学研究科・教授

研究者番号：30294599

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 30,500,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、初等・中等教育の普遍化が進展する一方で、種々の国内格差が生起している現実において、その普遍化と格差の構造を解明することを目的とした。アフリカおよびアジア諸国を中心に、人びとのリアリティを把握するため、質的調査を中心に行った。主な研究成果は、個々のフィールド研究の成果に加え、特に国際比較から格差を多面的に捉えなおしたこと、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を通して、格差に関わる問題をあらためて浮き彫りにしたことである。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の成果は、「途上国」「先進国」あるいは「日本」というような、各国の経済レベルにより対象国を分類し、教育を俯瞰するのではなく、共通の課題として、各国で起こっている格差の実態や格差の是正、縮減に向けての取り組みについて、当事者性をもって理解しようと試みている点である。フィールドデータを駆使し、就学率に代表される量的な教育指標だけに着目することの問題点を明らかにした。SDGsゴール4にある「包摂的かつ公正で質の高い教育」とは、何であるのかを問い直している。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study was to explore the reality and structure of disparities and inequalities while universalization of primary and secondary education has progressed. We principally did qualitative research to grasp the realities of people involved in education in African and Asian countries. Main research results are, in addition to those of individual field studies, the reconsideration of disparities/inequalities from multiple perspectives particularly based on international comparisons and the investigation of the issues involved in disparities/inequalities through the global pandemic of COVID-19.

研究分野：比較国際教育学

キーワード：教育社会学 比較教育学 国際開発学 発展途上国 教育普遍化 教育格差 アフリカ

1. 研究開始当初の背景

2000年以降、世界の不就学児童数(初等教育)は大幅に減少しているが(例えば、1999年1億503万人から2010年6068万人)、近年は逆に増加する傾向にあった(2015年6136万人)。これは、当初は教育を供給する側の対応(学校数を増やすなど)が効果を表すが、その後は需要側の子どもを持つ家庭の問題、あるいは社会全体の問題などが複雑に関わってくることから、就学が容易に促進されないためである。子どもを学校へ送らない、送れない理由は、実に様々である。

このような量的拡大が目されてきた背景には、2000年に国連で合意され2015年を目標達成年とした「ミレニアム開発目標(MDGs)」がある。その第2目標(全8目標)が(先進国はすでに達成している)初等教育の普遍化であった。この目標には、明示的に教育の質についての記述はない。その後継である「持続可能な開発目標(SDGs)」は、2030年を達成年とし、第4目標(全17目標)として、「すべての人々に包摂的かつ公正で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」ことが掲げられている。同目標の第1ターゲットとして、「適切かつ効果的な学習成果をもたらす、無償かつ公正で質の高い初等・中等教育の普遍化を達成すること」が設定されたのは特徴的である。SDGsにおいては、中等教育が含まれたことに加え、その質の高さが求められ、MDGsのような量的な普遍化だけが目標ではない。

しかし、SDGsにある「質の高い教育」を一つ取っても、何をもって質であるのかは判然としない。特にアフリカ諸国では、成果が見えやすい量的な拡大が最優先され、教育の質に対する改善が後回しになってきた。普遍化を達成しつつあるように数値上見えるところに落とし穴がある。また、国別の教育指標だけを見ては、国内の重大な格差に気づきにくい。

この教育格差の問題は、伝統的には男女間や地域間(都市と農村)、家庭の経済状況であり、教育の普遍化が進捗すれば自然と格差は解消するという期待もあった。しかし、普遍化が進めば進むほど、質的な面を考慮すれば、格差は包み隠されながら、拡大している可能性がある。就学している子どもの中に、受けることができる教育の質に大きな格差がある。ヨーロッパでは、格差の背後には社会階層があり、労働者層の文化があるとも言われている。

低所得国に分類されるアフリカやアジア諸国は、教育を普及・改善させるため、援助機関の支援を受けることが少なくない。そのような外部の機関による教育部門の現状分析は、経済学や社会学を中心とした専門家(教育学者が関わっていないことが大半)により行われることが多い。これは量的拡大を優先する時代においてはよかったが、格差の是正や質的改善を検討するには、従来の量的分析を中心とした調査方法だけでは限界がある。それに対して、本研究においては、比較教育や教育開発を専門とするフィールド研究者が集まることにより、質的データを中心とした事例研究法により、教育の質を捉えなおし、格差の実態をより正確に把握し、その背後にある社会構造を解明しようとした。

2. 研究の目的

本研究では、初等・中等教育の普遍化が進捗する一方で、種々の国内格差が生起している現実において、その普遍化と格差の構造を解明することを全体目的とした。普遍化が進捗する中で、覆い隠される格差に特に注目する。初等教育および中等教育の両者を同時に対象とすることで、例えば初等教育での隠れた格差が中等教育で顕在化するなど、あらたに明らかになることも少なくないはずである。

このようなことを踏まえ、以下の三つの研究目的を設定し、段階的に実行した。

教育の普遍化が進捗するなかでの格差の類型化と社会構造の把握

教育格差を是正するための政策・実践例の抽出と成功要因・課題・発展性の分析

政策的示唆・含意、実践上の課題の整理、および公正で質の高い教育提供モデルの検討

3. 研究の方法

この目的を達成するため、本研究では、従来の対象国の国際比較研究にはない、次のような2つの点を意識しながら取り組んだ。第1に、日本やフランスなどをフィールドにする研究分担者の参画により、長らくこのような格差の是正に取り組んできた先進国の研究蓄積と実践経験を活用した。しかし、これは一方的に「先進国」から学ぶのではなく、双方向的な研究交流でもある。第2に、人類学研究者の参加により、学際的な視点を強化すると共に、フィールドワークの手法を補完、強化することであった。

このように研究組織を意識的に編成することにより、学術的な独自性と創造性を高め、ユニークな研究成果が生成された。例えば、学力と社会関係資本、文化資本、経済資本の関係などは、先進国で定説となっている事項がアフリカなどの社会では、より複雑で異なった働きをしていた。さらに、このような手法を取り入れることにより、途上国と先進国という、対象国の違い(総所得による)により積極的に関わる機会のなかった研究者間での交流が促進され、双方に対する波及効果もあった。

研究対象国(12か国)については、普遍化が進捗する一方で、その格差が顕在化しつつあるアフリカ諸国(8か国:エチオピア、ウガンダ、ケニア、マラウイ、ザンビア、南アフリカ、マ

ダガスカル、ブルキナファソ)を中心とし、その対照としてアジア諸国(4か国:インド、バングラデシュ、タイ、インドネシア)を選定した。対象国の基本情報を比較すると、経済規模や貧困層の人口割合は様々であるが、初等教育は一樣に普遍化に近づいている。初等教育の総就学率は100%を超える国が大半であるが(学齢期外の子どもの就学が多い場合、その数値は100%を超える)、アフリカ諸国の中等教育総就学率は南アフリカを除けば低位にある。格差という点では、ジニ係数で計測される所得分配の不平等さは、南アフリカが世界で最悪レベルであることに加え、概してアフリカ諸国は高い。貧困層の人口割合が大きいのは、アフリカ諸国(南アフリカを除く)である。この国レベルのマクロ指標がどのように学校教育に影響を与えているのか、マクロとミクロ(フィールドデータ)をつなげることで、全体像が浮かび上がらすこともできた。

しかしながら、2020年3月から始まった新型コロナウイルス感染症の拡大により、海外渡航は厳しく制限され、特に2020年度および2021年度は、計画どおりの海外調査はできなかった。そのため、各研究分担者が過去に収集していたデータやオンラインなどの間接的な方法により、補足データを収集し、所期の研究成果が得られるよう工夫した。

4. 研究成果

研究成果については、下記に示すように、研究分担者の協力も得ながら、研究期間において中間的あるいはトピックごとに集大成する形で成果を取りまとめてきた。このような学会誌での特集企画(1.~5.)に加えて、個々の研究において随時成果を発表してきた。その中でも、全体の研究成果をまとめる形で出版したものが、下記の書籍(6.)『SDGs時代にみる教育の普遍化と格差—各国の事例研究と国際比較から読み解く』(全18章+序章・終章)である。

この出版の目的は、多様な社会、様々な教育の発展段階において、教育と格差をめぐって、いかなる課題があるのか、それぞれの執筆者が得意とするテーマと研究の方法で、あぶり出すことである。困難な状況にある一人ひとりのリアリティを把握するため、アフリカおよびアジアでのフィールド研究を中心としているが(第I部および第II部)、国際比較から格差を多面的に捉えなおすことを試みた章もある(第III部)。さらに、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大は、格差に関わる大きな問題を浮き彫りにしており、コロナ禍の教育と格差に特化した章も設けた(第IV部)。

本書の特徴は、本研究開始の前提でもある「途上国」「先進国」あるいは「日本」というような、各国の総所得(経済レベル)により分類し俯瞰するのではなく、共通の課題として、それぞれの国で起こっている格差の実態や格差の是正、縮減に向けての取り組みについて、当事者性をもって理解しようとした。したがって、日本や他の先進国を扱った章も含まれる。本書の各章は、人々の生活感を共有しながら、フィールドデータを駆使して、教育の普遍化へ向けた、あるいは達成した中での格差の実態を立体的に描き出したつもりである。各章の対象(者)は異なるかもしれないが、そのような表面的な差異の下には、通底する重要な事象が横たわっていると思う。就学率に代表される教育指標は、様々な格差を覆い隠す。

本書は、アフリカやアジア地域を中心としながらも、これらの地域に限定せず、教育が既に普遍化しているヨーロッパや日本などの国々の知見も組み込みながら、格差がいかにして発生するのか、各国でどのように是正が試みられているのかなどを検討してきた。このような18章が本書に収録されたことで、どのような成果が得られたかについて、以下の3点に分けて提示する。

(1) 国家間の格差

まず、コロナ禍という世界共通の災厄は、各国間にある違いを浮き彫りにし、その格差の状況について端的に示した事例となっただろう。本書でコロナ禍を一部または中心的に扱っているのは、第IV部のケニア、ウガンダ、マダガスカル、日本、フランスの事例であり、そのほかに、部分的にカンボジアでも触れられている。それぞれの国の事例では、焦点を当てている教育段階や分析対象が異なるため、単純な比較にはならないものの、やはり国家間の政策の違いやICT環境をはじめとする社会インフラの違いについては明確に浮かび上がってきた。

国ごとに学校閉鎖の期間が異なり、現段階ではいずれの国でも暫定的な結果しか読み取ることはできないものの、学校閉鎖による学力格差への影響もかなり異なることが分かる。本書からいえることは、コロナという有事が起こった際に、平時の政府がどこまで個別のニーズに対応できているかがかなり強く影響しているということであろう。

(2) 「格差」の多義性

次に、そもそも「格差」をどのように捉えるかについて、本書の章によって、あるいは扱う国によっても異なりうるということが明らかになった。まず本書の最初(第1章)に問いかけるのは、MDGsやSDGsなどの国際開発目標のアジェンダに掲げられる重要課題としての「教育」は、西欧で発展してきた公教育という制度を前提としていることである。確かに「就学率」は、国が定めた体系的知識を学習する「学校」へ行っているかどうかにおいて算出され、宗教的枠組みのなかで独自に実施される伝道や地域で年長者から知恵を伝達されることは、教育行為や学習が行われているとしても、当然ながら「就学率」には表れてこず公式には「教育」として浮かび上がってこない。

そこで、西アフリカ地域におけるイスラーム教育の役割について詳細に論じ、その教育機関と

しての意義を提唱している。すなわち、学校へ行っているかどうか、あるいは学校で規定される学力を獲得しているかどうかを基準に「格差」が認識されているが、そもそもこの基準は妥当なのかという問いかけである。格差に関わる諸概念の受け取られ方や、政策への反映のされ方については、国際社会での定義だけでなく、各国・各社会での文脈に沿った理解が不可欠ということがいえそうである。

(3) 「格差」是正の方法論的課題

最後に「格差」是正に向けてみえてきた政策課題についてまとめる。(1)で確認したように、コロナ禍において学校が閉鎖されたことが格差の拡大を促したのか、それともそれほどの影響が出なかったのかについては、未だ議論が続けられている。しかし、これまでの教育の普及が必ずしも格差縮減に至っていないことは、バングラデシュ(第6章)農村の事例から示されている。20年に及び縦断的調査から、20年前に下位階層にあった人びとは、教育普及後も、教育歴を活用した形での職業選択はあまり出来ていないことを明らかにした。つまり、教育の普及は、格差の縮減に機能している状況とはいえないと結論づけている。さらに、タイ(第8章)において多様な能力に応じた多様な教育機会の拡充が進められているものの、一部のエリート層を伸ばすための教育と、困難な状況にある子どもたちを包摂しようとする教育政策とが併存しており、格差の縮小は見込めないとしている。

これまで比較の対象とすることのなかった日本の事例(第9章)が指摘するように、「公教育は、身分社会のくびきから人々が自由になり、自らの思い描く未来の夢や希望を実現するべく成立したものである。決して階層再生産の道具や社会的不平等の温床に成り下がってしまえばならない」。しかしながら、日本ではペアレントクラシー化が顕著になりつつあり、本書で扱うアフリカやアジア地域でもその傾向が進んでいることは否めないだろう。

新自由主義の道も公正原理の道も、いずれも課題と困難が付随していることは、本書に収録されたこれらの章から明らかになっている。格差の是正とは、それほどに複雑で、解決を導くこと、そして何をもって「解決」とみなすかの合意を得ることが難しいことが分かる。本書から示せることは、それでも各国でどのような政策がいかなり理念のもとで展開されているか、そして、それらの政策が、現場でどのように受け入れられているのかということである。

学会誌の特集

- 『比較教育学研究』68号、特集「SDGs時代にみる教育の普遍化と格差—アフリカの事例と国際比較から読み解く」日本比較教育学会、2024年1月。
澤村信英「特集の趣旨」
小川未空「SDGs時代のケニアにおける教育の普遍化と格差」
坂上勝基「ウガンダにおけるSDGs時代の基礎教育普遍化と格差」
坂口真康「南アフリカ共和国における教育の普遍化と格差の現状の論点」
大場麻代「アフリカ諸国における学校教育制度による教育の格差拡大」
園山大祐「21世紀に求められるフィールドワーカーによる比較教育研究」
- 『アフリカ教育研究』14号、特集「ケニアにおけるカリキュラム改革の現状と課題—合同フィールドワークから」アフリカ教育学会、2023年12月。
大場麻代「特集にあたって」
大場麻代ほか「ケニアにおける教育制度改革とカリキュラム改革の現状と課題」
澤村信英「ケニアにおける教育改革の進捗と問題点」
志水宏吉「ケニアを訪れて」
園山大祐「ケニア調査を通して学んだこと、感じたこと」
大場麻代「合同フィールドワークから学んだこと」
- 『アフリカ教育研究』13号、特集「インクルーシブ教育の国際的潮流とアフリカでの受容」アフリカ教育学会、2022年12月。
利根川佳子「特集にあたって」
黒田一雄「インクルーシブ教育のグローバルガバナンスと特別支援教育」
大場麻代「グローバル・サウスからみたインクルーシブ教育の課題」
川口純「マラウイのインクルーシブ教育」
利根川佳子「障害のある子どものためのインクルーシブ教育の実践と課題」
- 『アフリカ教育研究』12号、特集「コロナ禍における比較国際教育研究の新展開」アフリカ教育学会、2021年12月。
澤村信英「特集にあたって」
Sakaue, K. et al. “Inequity in Learning Engagements Amid the COVID-19 Pandemic”
Maki, et al. “The Prospect of Education Universalisation and Inequity in African Countries Aspiring to Be Middle-Income Countries”
Ohba, A. et al. “The Nexus Between Policy and Practice of Inclusive Education”
Sakaguchi, M. et al. “Exploring the Concepts of ‘(In)equality’, ‘(In)equity’, and ‘(Dis)parity’ in the National Curricula and Examinations of Secondary Education”
Ohba, A. et al. “A Critical Review of the Literature on Low-Fee Private Schools”
Utami, P. T. et al. “Toward Religious Education for All Religions”

Andriariniaina, F. R. & Sawamura, N. “Exploring the Changes Brought by Emergency Distance Education in Malagasy Universities”

第 28 回大会実行委員会「共同・協働研究を軸としたアフリカ教育研究の展開」

5. 『国際開発研究』29 巻 2 号、特集「SDGs 時代の教育普遍化と格差」国際開発学会、2020 年 11 月。

澤村信英「特集にあたって」

小川未空ほか「SDGs 時代の教育普遍化と格差の開発研究」

牧貴愛「タイにおける基礎教育改革と中等学校をめぐる格差」

日下部達哉「バングラデシュ農村の経済・社会格差縮減に対する教育開発の貢献」

興津妙子ほか「ザンビア都市インフォーマル居住区における就学前教育の展開と格差」

川口純・丹羽勇人「教育格差の中にある格差」

園山大祐ほか「マダガスカル教育政策の変遷と格差是正」

書籍

6. 『SDGs 時代にみる教育の普遍化と格差—各国の事例研究と国際比較から読み解く』明石書店、澤村信英・小川未空・坂上勝基編著、2023 年 5 月。

序章 教育の普遍化と格差に関わるフィールド研究と国際比較はなぜ必要か（坂上勝基）

第 部 教育の普遍化と格差（アフリカ）

1 章 西アフリカ地域における創り出される「教育」格差（清水貴夫）

2 章 幼児教育の「質」と「格差」を問い直す（興津妙子）

3 章 周縁化された子ども間に生じる教育格差の中にある格差（川口純）

4 章 マダガスカル農村部における学校から仕事への移行（F・R・アンドリアリニアイナほか）

5 章 中国の大学におけるアフリカ人学生の留学動機（羅方舟・小川未空）

第 部 教育の普遍化と格差（アジア）

6 章 バングラデシュ農村の社会経済格差縮減と教育開発（日下部達哉）

7 章 カンボジアにおける教育普遍化と教育の質向上（荻巣崇世）

8 章 タイにおける教育格差と是正措置（牧貴愛）

9 章 日本における教育格差とその克服（志水宏吉）

第 部 教育格差をめぐる国際比較

10 章 中所得国入りをめざすアフリカ諸国の教育普遍化と格差の展望（小川未空ほか）

11 章 中等教育カリキュラムと修了試験にみる「格差」概念の探索（坂口真康）

12 章 インクルーシブ教育政策と学校現場での取り組み（川口純ほか）

13 章 すべての子どもが共に学ぶ教育の諸相と課題（伊藤駿）

14 章 低学費私立学校をめぐる脱国家的な動向（小原優貴ほか）

第 部 コロナ禍の学校教育と格差

15 章 アフリカ諸国のコロナ禍における学習機会の格差（坂上勝基）

16 章 マダガスカル大学における緊急的な遠隔教育による格差の生成（F・R・アンドリアリニアイナ・澤村信英）

17 章 コロナ禍の日本における教育格差への対応（中丸和）

18 章 格差是正に向けたデジタル教育普及をめぐる諸課題（園山大祐）

終章 教育の普遍化と格差を問い直す国際比較研究（小川未空）

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計51件（うち査読付論文 24件 / うち国際共著 20件 / うちオープンアクセス 40件）

1. 著者名 Malenya Francis Likoye, Ohba Asayo	4. 巻 25
2. 論文標題 Equity issues in the provision of online learning during the Covid-19 pandemic in Kenya	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Journal of International Cooperation in Education	6. 最初と最後の頁 96～107
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1108/JICE-12-2022-0047	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 大場 麻代	4. 巻 13
2. 論文標題 グローバル・サウスからみたインクルーシブ教育の課題	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アフリカ教育研究	6. 最初と最後の頁 12～21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.50919/africaeducation.13.0_12	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Fangzhou Luo	4. 巻 13
2. 論文標題 The Transition of African Students in China from University Education to Work: Focusing on Labor Policies and Employment Cases of International Students	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Africa Educational Research	6. 最初と最後の頁 67-78
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.50919/africaeducation.13.0_67	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 長野優希	4. 巻 10
2. 論文標題 ケニアのキベラスラムにおける無資格教員と低学費私立学校の関係－教員の生活戦略に着目して－	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 未来共創	6. 最初と最後の頁 43-76
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.50829/miraikyoso.10.0_43	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Okitsu Taeko, Edwards D. Brent, Mwanza Peggy, Miller Scott	4. 巻 97
2. 論文標題 Low-fee private preschools as the symbol of imagined 'modernity'? -Parental perspectives on early childhood care and education (ECCE) in an urban informal settlement in Zambia	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 International Journal of Educational Development	6. 最初と最後の頁 102723 ~ 102723
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijedudev.2022.102723	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Edwards D. Brent, Okitsu Taeko, Mwanza Peggy	4. 巻 68
2. 論文標題 Low-fee private schools for early childhood care and education? Insights from Zambia in the context of economic globalisation	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Review of Education	6. 最初と最後の頁 897 ~ 910
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11159-023-09985-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sakaue Katsuki, Wokadala James	4. 巻 90
2. 論文標題 Effects of including refugees in local government schools on pupils' learning achievement: Evidence from West Nile, Uganda	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Educational Development	6. 最初と最後の頁 102543 ~ 102543
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijedudev.2021.102543	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ogawa Miku	4. 巻 52
2. 論文標題 Emerging inequality in Kenyan secondary schools: Dilemmas of educational expansion and quality improvement	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 PROSPECTS	6. 最初と最後の頁 453 ~ 468
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11125-022-09627-4	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川口 純	4. 巻 13
2. 論文標題 マラウイのインクルーシブ教育 - 導入過程における課題と今後の展望 -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アフリカ教育研究	6. 最初と最後の頁 22 ~ 29
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.13.0_22	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 牧 貴愛、竹内 裕希子、坂田 のぞみ	4. 巻 3
2. 論文標題 タイの防災教育に関する予備的検討	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 広島大学大学院人間社会科学研究科紀要. 教育学研究	6. 最初と最後の頁 275 ~ 279
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15027/53403	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yoshiko Tonegawa	4. 巻 27
2. 論文標題 Inclusive Education Focusing on Children with Hearing Impairment in Ethiopia: Local Response to the International Agenda	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Nilo-Ethiopian Studies	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11198/niloethiopian.27.a	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 利根川 佳子	4. 巻 13
2. 論文標題 障害のある子どものためのインクルーシブ教育の実践と課題 - エチオピアにおける「特別学級を基盤とした通常学級」を事例として -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アフリカ教育研究	6. 最初と最後の頁 30 ~ 41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.13.0_30	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 小川未空・坂上勝基・澤村信英	4. 巻 29(2)
2. 論文標題 SDGs 時代の教育普遍化と格差の開発研究	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際開発研究	6. 最初と最後の頁 5-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32204/jids.29.2_5	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 牧貴愛	4. 巻 29(2)
2. 論文標題 タイにおける基礎教育改革と中等学校をめぐる格差 「分を知る」社会の二者間関係	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際開発研究	6. 最初と最後の頁 21-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32204/jids.29.2_21	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 日下部達哉	4. 巻 29(2)
2. 論文標題 バングラデシュ農村の経済・社会格差縮減に対する教育開発の貢献 20年間の縦断的研究結果から	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際開発研究	6. 最初と最後の頁 35-47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32204/jids.29.2_35	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 興津 妙子, プレントD エドワーズ ジュニア, ベギー ムワンザ	4. 巻 29(2)
2. 論文標題 ザンビア都市インフォーマル居住区における就学前教育の展開と格差 低学費私立幼稚園の台頭に着目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際開発研究	6. 最初と最後の頁 49-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32204/jids.29.2_49	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 川口 純, 丹羽 勇人	4. 巻 29(2)
2. 論文標題 教育格差の中にある格差 マラウイの初等教育への就学実態を事例に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際開発研究	6. 最初と最後の頁 63-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32204/jids.29.2_63	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 園山 大祐, ファナンテナナ リアナスア アンドリアリニアイナ, アンドリアマナシナ ルズニアイナ ラスルナイヴ	4. 巻 29(2)
2. 論文標題 マダガスカル教育政策の変遷と格差是正 職業へのアクセスに着目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 国際開発研究	6. 最初と最後の頁 75-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32204/jids.29.2_75	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ohba Asayo, Malenya Francis Likoye	4. 巻 52
2. 論文標題 Addressing inclusive education for learners with disabilities in the integrated education system: the dilemma of public primary schools in Kenya	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Compare: A Journal of Comparative and International Education	6. 最初と最後の頁 19~36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03057925.2020.1726727	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 羅方舟, 澤村信英	4. 巻 30(1)
2. 論文標題 中国におけるアフリカ人学生の留学動機と修学経験 アモイ大学の学位取得型留学生を事例に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際開発研究	6. 最初と最後の頁 147-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32204/jids.30.1_147	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Andriariniaina, F. R. and Sawamura, N.	4. 巻 30(2)
2. 論文標題 Investigating School to Work Transition in Rural Madagascar: Upper Secondary Students' Career Plans and Their Decision Patterns	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of International Development Studies	6. 最初と最後の頁 113-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32204/jids.30.2_113	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Katsuki Sakaue, Miku Ogawa, Nobuhide Sawamura	4. 巻 12
2. 論文標題 Inequality in Learning Engagements Amid the COVID-19 Pandemic: A Comparative Study of Kenya, Uganda, and Malawi	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Africa Educational Research Journal	6. 最初と最後の頁 4-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.12.0_4	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Takayoshi Maki, Miku Ogawa, Katsuki Sakaue	4. 巻 12
2. 論文標題 The Prospect of Education Universalisation and Inequality in African Countries Aspiring to Be Middle-Income Countries: A Comparative Study of Thailand, Kenya, and Uganda	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Africa Educational Research Journal	6. 最初と最後の頁 19-36
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.12.0_19	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Asayo Ohba, Yoshiko Tonegawa, Jun Kawaguchi	4. 巻 12
2. 論文標題 The Nexus Between Policy and Practice of Inclusive Education: A Study of Malawi and Ethiopia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Africa Educational Research Journal	6. 最初と最後の頁 37-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.12.0_37	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Masayasu Sakaguchi, Miku Ogawa, Andriamanasina Rojoniaina Rasolonaivo	4. 巻 12
2. 論文標題 Exploring the Concepts of ' (In)equality ', ' (In)equity ', and ' (Dis)parity ' in the National Curricula and Examinations of Secondary Education: A Comparison Between the Cases of South Africa, Kenya, and Madagascar	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Africa Educational Research Journal	6. 最初と最後の頁 49-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.12.0_49	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Asayo Ohba, Yuki Ohara, Taeko Okitsu	4. 巻 12
2. 論文標題 A Critical Review of the Literature on Low-Fee Private Schools: Whose Reality Counts?	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Africa Educational Research Journal	6. 最初と最後の頁 63-72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.12.0_63	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Pratiwi Tri Utami, Takao Shimizu, Tatsuya Kusakabe	4. 巻 12
2. 論文標題 Toward Religious Education for All Religions: Reducing the Education Gap Based on Indonesia's Religious Inherency	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Africa Educational Research Journal	6. 最初と最後の頁 73-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.12.0_73	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fanantenana Rianasoa Andriariniaina, Harinosy Ratompomalala, Nobuhide Sawamura	4. 巻 12
2. 論文標題 Exploring the Changes Brought by Emergency Distance Education in Malagasy Universities: Disparities Under COVID-19 at a Teacher Training Institution	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Africa Educational Research Journal	6. 最初と最後の頁 85-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.12.0_85	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 アフリカ教育学会第28回大会実行委員会	4. 巻 12
2. 論文標題 共同・協働研究を軸としたアフリカ教育研究の展開 「コロナ禍の逆境」を乗り越えるための挑戦の記録	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Africa Educational Research Journal	6. 最初と最後の頁 99-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.12.0_99	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大場麻代	4. 巻 24(1)
2. 論文標題 ケニアにおける無認可低学費私立学校 多様化するニーズを支えるのは誰の役割か	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国際教育協力論集	6. 最初と最後の頁 29-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15027/52054	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianasoa & Sawamura, Nobuhide	4. 巻 30(2)
2. 論文標題 Investigating School to Work Transition in Rural Madagascar: Upper Secondary School Students' Career Plans and Their Decision Patterns	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of International Development Studies	6. 最初と最後の頁 113-127
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.32204/jids.30.2_113	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianasoa	4. 巻 6
2. 論文標題 Parental Involvement in School to Work Transition in Rural Madagascar: Focusing on Parents' Expectations of Education Outcomes	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Kyosei Studies	6. 最初と最後の頁 1-22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/86424	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 園山大祐, 辻野けんま, 有江ディアナ, 中丸和	4. 巻 47
2. 論文標題 国際比較に見るCOVID-19対策が浮き彫りにした教育行政の特質と課題	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本教育行政学年報	6. 最初と最後の頁 25-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24491/jeas.47.0_25	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sonoyama, Daisuke	4. 巻 6
2. 論文標題 Inequality in the Academic Achievement and Trajectory of “French Students with an Immigrant Background” and the Working Class : The mechanism of self-selection and marginalisation in secondary education	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Osaka University Knowledge Archive: OUKA	6. 最初と最後の頁 55-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18910/86899	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 興津妙子	4. 巻 63
2. 論文標題 ザンビアにおける保育・幼児教育の政策的展開と実態 ネオリベラリズムの中で交錯するグローバル性とローカル性	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 比較教育学研究	6. 最初と最後の頁 73-88
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5998/jces.2021.63_73	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 牧 貴愛、平田 仁胤、岡花 祈一郎	4. 巻 2
2. 論文標題 東南アジアの教師教育者に求められる条件 : タイ・カンボジア・ベトナムの公募文書の比較研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 広島大学大学院人間社会科学研究科紀要. 教育学研究	6. 最初と最後の頁 268 ~ 276
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15027/51637	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 牧 貴愛、下田 旭美	4. 巻 2
2. 論文標題 タイにおけるへき地教員養成の展開：「公正な教育のための基金」による事業を中心に	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 広島大学大学院人間社会科学研究科紀要．教育学研究	6. 最初と最後の頁 277～283
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15027/51638	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sakaue Katsuki、Wokadala James	4. 巻 90
2. 論文標題 Effects of including refugees in local government schools on pupils' learning achievement: Evidence from West Nile, Uganda	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Educational Development	6. 最初と最後の頁 102543～102543
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.ijedudev.2021.102543	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Ogawa, Miku	4. 巻 10
2. 論文標題 The Role of Low-cost Private Secondary Schools in Rural Kenya Under the 'Free Secondary Education Policy'	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of International and Comparative Education	6. 最初と最後の頁 97～115
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.14425/jice.2021.10.2.1205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川未空	4. 巻 9
2. 論文標題 ケニアの中等教育における低学費私立校の公共性 教育格差に果たす役割	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 未来共創	6. 最初と最後の頁 143-171
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.50829/miraikyoso.9.0_143	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Mousumi Manjuma Akhtar and Tatsuya Kusakabe	4. 巻 20(1)
2. 論文標題 Private school choice among Muslim parents: The public-private school decision in Delhi, India	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 London Review of Education	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14324/LRE.20.1.25.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Cao Lei, Kusakabe Tatsuya	4. 巻 36
2. 論文標題 A comparative study on the supply of applied human resources for regional labour market needs in China's private higher education	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Industry and Higher Education	6. 最初と最後の頁 870 ~ 881
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1177/09504222221081670	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Asim Das, Tatsuya Kusakabe	4. 巻 24(2)
2. 論文標題 Impact of COVID-19 in Pedagogical Practices at Secondary Education in Bangladesh	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of International Cooperation in Education	6. 最初と最後の頁 113-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15027/51952	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tonogawa Yoshiko	4. 巻 15
2. 論文標題 Contextualization of Inclusive Education: Education for Children with Disabilities in Myanmar	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 International Journal of Instruction	6. 最初と最後の頁 365 ~ 380
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.29333/iji.2022.15121a	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小川未空	4. 巻 2019
2. 論文標題 現代ケニアにおける中等学校設立の動態 ハランベ-期との比較から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アフリカ研究	6. 最初と最後の頁 1~12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11619/africa.2019.95_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mousumi Manjuma Akhtar, Kusakabe Tatsuya	4. 巻 49
2. 論文標題 The dilemmas of school choice: do parents really 'choose' low-fee private schools in Delhi, India?	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Compare: A Journal of Comparative and International Education	6. 最初と最後の頁 230~248
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/03057925.2017.1401451	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mousumi Manjuma Akhtar, Kusakabe Tatsuya	4. 巻 14
2. 論文標題 Low-fee Private Schooling: Poor Households' Struggle to Support Their Children's School Attendance in Unauthorized Colonies in Delhi, India	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of School Choice	6. 最初と最後の頁 280~300
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/15582159.2019.1686594	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Edwards Jr. D. Brent, Okitsu Taeko, Mwanza Peggy	4. 巻 27
2. 論文標題 Low-fee private schools, the state, and globalization: A market analysis within the political sociology of education and development	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Education Policy Analysis Archives	6. 最初と最後の頁 133~133
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.14507/epaa.27.4534	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Andriamanasina Rojoniaina Rasolonaivo	4. 巻 9
2. 論文標題 The representation of Civic Education in Madagascar: exploring the evolution of textbook contents	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Africa Educational Research Journal	6. 最初と最後の頁 123-142
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.10.0_123	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 坂上勝基	4. 巻 10
2. 論文標題 ウガンダ北部の難民受入地域への教育援助に関する一考察ー初等学校の教員と児童の視点に着目してー	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 アフリカ教育研究	6. 最初と最後の頁 78-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.50919/africaeducation.10.0_78	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐久間茜、川口純	4. 巻 22(2)
2. 論文標題 アフリカ人留学生の受け入れに関する一考察 日本の大学選定過程の分析を中心に	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 国際教育協力論集	6. 最初と最後の頁 15-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15027/48836	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計87件(うち招待講演 0件/うち国際学会 25件)

1. 発表者名 澤村信英
2. 発表標題 ケニアにおける基礎教育無償・義務化の実態 なぜ初等学校修了後に中等学校へ進学できないのか
3. 学会等名 アフリカ教育学会第30回大会(鹿児島女子短期大学)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 澤村信英
2. 発表標題 コロナ禍にある低学費私立学校の運営と生徒の生活 ケニア・ナイロビのスラムに暮らし働く教師の観察記録の分析
3. 学会等名 アフリカ教育学会第29回大会（早稲田大学、オンライン）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 大場麻代
2. 発表標題 障がいのある子どもの学校教育 - グローバル・サウスからみたインクルーシブ教育の課題
3. 学会等名 国際開発学会第33回全国大会（明治大学）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ohara, Y. and Choudhury, P.
2. 発表標題 Internationalization of higher education (IHE) at home in India: proactive policy shift, institutional efforts and emerging concerns
3. 学会等名 67th Annual Meeting of the Comparative and International Education Society (Online) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 羅方舟
2. 発表標題 中国におけるアフリカ人留学生の進路選択とキャリア計画 浙江師範大学における留学形態に着目して
3. 学会等名 日本比較教育学会第58回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Fangzhou Luo
2. 発表標題 Are highly educated Ghanaian students in China willing to return to their home country after graduation?
3. 学会等名 アフリカ教育学会第30回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Fangzhou Luo
2. 発表標題 Career Choices of Ghanaian students in China and Their Intention of Homeland Return: Focusing on Highly Educated Talents
3. 学会等名 International Education Development Forum (IEDF) 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yuki MIYAMURA
2. 発表標題 Migration and education for children of migrant workers in India: Focusing on parents' various school choices
3. 学会等名 International Education Development Forum 2022 (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 宮村侑樹
2. 発表標題 インドにおける出稼ぎ労働者の子どもの教育－保護者の多様な学校選択に着目して
3. 学会等名 国際開発学会第33回全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Rasolonaivo, Andriamasina Rojoniaina
2. 発表標題 Citizenship education and Malagasy philosophy: An analysis of the Malagasy literature and culture subject in upper secondary school
3. 学会等名 30th Japan Society for Africa Educational Research Conference, Kagoshima Women ' s College
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianasoa
2. 発表標題 Preparing for School to Work Transition under Secondary Education Expansion in Low-Income Areas in Kenya: Final Year Students ' Work Aspirations and Parental Involvement
3. 学会等名 30th Japan Society for Africa Educational Research Conference, Kagoshima Women ' s College
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 長野優希
2. 発表標題 無資格教員にとっての低学費私立校の存在意義 ケニアのキベラスラムを事例に
3. 学会等名 アフリカ教育学会第30回大会（鹿児島女子短期大学）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 長野優希
2. 発表標題 ケニアのキベラスラムにおける無資格教員と低学費私立学校の関係ー教員の生活戦略に着目してー
3. 学会等名 第63回アジア教育研究会（京都大学）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 Sakaue, Katsuki
2. 発表標題 Inequalities in learning engagement during the COVID induced school closures in Uganda
3. 学会等名 日本比較教育学会第58回大会（北海道・東北地区、オンライン）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sakaue, Katsuki
2. 発表標題 Determinants of access to learning opportunities among primary school-aged children amid the COVID-19 pandemic: Evidence from Uganda
3. 学会等名 The 66th annual conference of the Comparative and International Education Society, Minneapolis (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ogawa, Miku
2. 発表標題 The role of low-cost private secondary schools in rural Kenya under the 'Free Secondary Education Policy'
3. 学会等名 The 66th annual conference of the Comparative and International Education Society, Minneapolis (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 小川未空
2. 発表標題 ケニアの中等学校における学校放火事件 判例集の証言からみる放火の原因と特徴
3. 学会等名 アフリカ教育学会第30回大会（鹿児島女子短期大学）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kawaguchi Jun, Kuroda Kazuo
2. 発表標題 Diffusion of inclusive education concept as a norm of educational policy in developing countries: A Case of Malawi
3. 学会等名 67th Annual Meeting of the Comparative and International Education Society (Online) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 牧貴愛
2. 発表標題 タイにおける「教育イノベーション地区」に関する予備的考察
3. 学会等名 日本比較教育学会第58回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Nozomi Sakata, Masayasu Sakaguchi, Asami Shimoda, Takayoshi Maki
2. 発表標題 National Agenda for ICT in Education: A Comparative Analysis between South Africa and Japan
3. 学会等名 The 29th Japan Society for Africa Educational Research Conference
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Takayoshi Maki
2. 発表標題 State Involvement in Teacher Education in Thailand: A Japanese Thai education researchers' perspective
3. 学会等名 国際タイ学会第14回大会 (京都大学、オンライン) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 牧 貴愛、下田 旭美、塚脇 涼太
2. 発表標題 アフリカの教師教育者に求められる条件 マラウイ・ザンビアの比較研究
3. 学会等名 日本教育学会第81回大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 利根川佳子、川口純、大場麻代
2. 発表標題 エチオピアとマラウイーインクルーシブ教育受容と課題ー
3. 学会等名 アフリカ教育学会第29回大会 公開特別セッション
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Yoshiko Tonegawa
2. 発表標題 Local Response to the International Agenda: The Case of Inclusive Education for Children with Hearing Impairment in Ethiopia
3. 学会等名 67th Annual Meeting of the Comparative and International Education Society (Online) (国際学会)
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 澤村信英
2. 発表標題 ケニア・ナイロビのスラムにおける無認可低学費私立学校の運営 自律的な発展と外部者の支援
3. 学会等名 アフリカ教育学会第26回大会 (帝京大学、オンライン)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 澤村信英
2. 発表標題 ケニアのスラムにおける無認可低学費私立学校の運営 厳しい環境の中で教員として働くモチベーションに着目して
3. 学会等名 日本アフリカ学会第57回学術大会（広島市立大学、オンライン）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sawamura, Nobuhide
2. 発表標題 Management of Low-Fee Private Schools in Challenging Circumstances: Exploring Teachers' Motivation to Work in a Slum Area of Kenya
3. 学会等名 Comparative Education Society of Asia (CESA) 12th Biennial Conference (Online via Hopin, Kathmandu University) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 澤村信英
2. 発表標題 危機に立つ無認可私立学校の運営と教師の生活 ケニア・ナイロビのスラムで暮らし働く教師の日常の分析
3. 学会等名 アフリカ教育学会第28回大会（兵庫教育大学、オンライン）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 羅方舟
2. 発表標題 中国におけるザンビア人留学生の教育から職業への移行 国境を超える高等教育の役割に着目して
3. 学会等名 アフリカ教育学会第28回大会（兵庫教育大学、オンライン）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Fangzhou LUO
2. 発表標題 Student mobility from Africa to China: motivations and experience of degree students at Xiamen University
3. 学会等名 Comparative and International Education Society 2021, 65th Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Fangzhou LUO
2. 発表標題 Why do African students choose studying in China?
3. 学会等名 Comparative Education Society of ASIA 12th Biennial Conference, Kathmandu Nepal (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Fangzhou LUO
2. 発表標題 Career plans and choices of African students in China: A case study of students at Zhejiang Normal University
3. 学会等名 The 28th Conference of Japan Society for Africa Educational Research
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Fangzhou LUO
2. 発表標題 Career plans and choices of African students in China: Target at degree students in Zhejiang and Beijing
3. 学会等名 International Education Development Forum 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 羅方舟
2. 発表標題 中国におけるアフリカ人留学生の進路選択とキャリア計画 浙江師範大学の学位取得型学生を事例に
3. 学会等名 国際開発学会第32回全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 羅方舟
2. 発表標題 中国におけるアフリカ人留学生の進路選択とキャリア計画 浙江師範大学の学位取得型学生を事例に
3. 学会等名 日本比較教育学会・研究発表会2021（オンライン）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianasoa
2. 発表標題 School to Work Transition in the Rural Area of Madagascar: Comparing Students' Aspirations and Parents' Perspectives
3. 学会等名 27th Japan Society for Africa Educational Research Conference, Osaka University (Virtual)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianasoa
2. 発表標題 School to Work Transition in the Rural Area of Madagascar: Confronting Children's Aspirations with Parental Decisions
3. 学会等名 58th Japan Association for African Studies Annual Conference, Hiroshima City University (Virtual)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianasoa
2. 発表標題 School to Work Transition in Rural Madagascar: Exploring Parents' Influence on Children's Aspirations
3. 学会等名 22nd Japan Society for International Development Spring Conference, Bunkyo University (Virtual)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianasoa
2. 発表標題 School to Work Transition in Rural Madagascar: Investigating Parents' Contribution to Children's Career Plans
3. 学会等名 12th Biennial Conference of Comparative Education Society of Asia, Kathmandu University (Virtual) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianasoa
2. 発表標題 Understanding Decision Making in School to Work Transition in Rural Madagascar: A Focus on Children's Aspirations and Parents' Views
3. 学会等名 UKFIET International Conference on Education and Development, Oxford University (Virtual) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 ファンテナナ リアナスア アンドリアリニアイナ
2. 発表標題 マダガスカル農村部における学校から仕事への移行 子どもの職業志望と親の影響に着目して
3. 学会等名 第62回アジア教育研究会、京都大学 (オンライン)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Rasolonaivo, Andriamasina Rojoniaina
2. 発表標題 Locating Global Citizenship Education in the Context of Madagascar: Drawing from Rural School Stakeholders' Views
3. 学会等名 27th Japanese Society for Africa Educational Research (Virtual)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Rasolonaivo, Andriamasina Rojoniaina
2. 発表標題 Locating Global Citizenship Education in the Context of Madagascar: Drawing from Rural School Stakeholders' views: School Practices and Students' Perceptions in Rural Madagascar
3. 学会等名 65th Comparative and International Education Society Conference (Virtual) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Rasolonaivo, Andriamasina Rojoniaina
2. 発表標題 School Stakeholders' Perspectives on Citizenship Education in Rural Madagascar: Situating Global Citizenship Education in the Local Context
3. 学会等名 58th Japan Association for African Studies Annual Conference, Hiroshima University (Virtual)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Rasolonaivo, Andriamasina Rojoniaina
2. 発表標題 Exploring the Place of Global Citizenship Education in the Local Context of Madagascar: From the Views and Practices of Rural School Stakeholders
3. 学会等名 22nd Japan Society for International Development Spring Conference, Bunkyo University (Virtual)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Rasolonaivo, Andriamasina Rojoniaina
2. 発表標題 Exploring the Implementation of Global Citizenship Education in the Local Context of Madagascar: From the Perspectives of Rural School Stakeholders
3. 学会等名 UKFIET International Conference on Education and Development, Oxford University (Virtual) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Rasolonaivo, Andriamasina Rojoniaina
2. 発表標題 Global Citizenship Education and Local Practices in Rural Madagascar
3. 学会等名 12th Biennial Conference of Comparative Education Society of Asia, Kathmandu University (Virtual) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 園山大祐ほか
2. 発表標題 ヨーロッパの教育政策にみる早期離学と進路保障 学校から離れる若者、多様な学び方と教育訓練の場 (ラウンドテーブル)
3. 学会等名 日本比較教育学会第57回大会 (筑波大学)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小原優貴、門松愛
2. 発表標題 南アジアにおける保育の質向上の動向 インドとバングラデシュの事例から -
3. 学会等名 日本子ども社会学会第 27 回大会 (Web サイトにおける発表資料の掲載と質疑応答)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 牧貴愛
2. 発表標題 タイにおける教師教育者の人事制度 公募文書を手がかりとして
3. 学会等名 日本比較教育学会第57回大会（筑波大学）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Maki, Takayoshi
2. 発表標題 Potential Challenges of Rural Teacher Education in Thailand
3. 学会等名 12th Biennial Conference of Comparative Education Society of Asia, Kathmandu University (Virtual) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sakaguchi, Masayasu
2. 発表標題 Exploring the Concepts of “Equality,” “Equity” and “Disparity” at School Education in the Republic of South Africa: A Case Study of Optionally Selected Grade 12 Life Orientation Textbooks
3. 学会等名 27th Japan Society for Africa Educational Research Conference (Online)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 澤村信英・小川未空・日下部達哉・坂上勝基・坂口真康・清水貴夫・牧貴愛
2. 発表標題 SDGs時代の教育普遍化と格差
3. 学会等名 日本比較教育学会第57回 大会（ラウンドテーブル、オンライン）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 坂上勝基
2. 発表標題 途上国における難民を包摂する初等教育政策下の児童の学力の決定要因 ウガンダ北部を事例として
3. 学会等名 日本比較教育学会第57回大会（筑波大学・オンライン）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Sakaue, Katsuki
2. 発表標題 Determinants of access to learning opportunities among primary school-aged children amid the COVID-19 pandemic: Evidence from Uganda
3. 学会等名 66th annual conference of the Comparative and International Education Society, Minneapolis (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Sakaue, Katsuki
2. 発表標題 How does inclusion of refugee children into public schools affect children's reading and math skills? Evidence from West Nile, Uganda
3. 学会等名 65th annual conference of the Comparative and International Education Society, Seattle (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Ogawa, Miku
2. 発表標題 Accessing higher education from low quality secondary school in rural Kenya
3. 学会等名 65th annual conference of the Comparative and International Education Society, Seattle (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tonegawa, Yoshiko
2. 発表標題 Contextualization of Inclusive Education: Education for Children with Visual Impairment in Yangon, Myanmar
3. 学会等名 Oxford Education Research Symposium (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 利根川佳子
2. 発表標題 ミャンマーにおけるインクルーシブ教育－視覚障害のある子どもの 中等教育を事例に
3. 学会等名 日本比較教育学会 第57回大会 (筑波大学・オンライン)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 澤村信英
2. 発表標題 ケニアのスラムにおける無認可私立学校の運営 住民の自助と国際援助の相克
3. 学会等名 国際ボランティア学会第21回大会 (沖縄キリスト教学院大学)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 利根川佳子
2. 発表標題 エチオピアにおけるインクルーシブ教育－アディスアベバ市における障害児の初等教育
3. 学会等名 第3回筑波大学インクルーシブ教育研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大場麻代
2. 発表標題 ケニアの小学生における教授用言語と日常の言語
3. 学会等名 第55回日本比較教育学会（東京外国語大学）ラウンドテーブル「発展途上国における教育の普遍化と格差」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大場麻代
2. 発表標題 ケニアにおけるカリキュラム改革とスラムの学校対応 ナイロビのマザレを事例に
3. 学会等名 第55回日本比較教育学会（東京外国語大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大場麻代
2. 発表標題 ケニアの小学校における新カリキュラム導入とスラムの学校対応 ナイロビのマザレを事例に
3. 学会等名 国際開発学会第20回春季大会（陸前高田グローバルキャンパス）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohba, Asayo
2. 発表標題 What are the implications of Kenya's curriculum reform for unrecognised primary schools in urban slums?
3. 学会等名 2019 UKFIET: UK Forum for International Education and Training, University of Oxford (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ohba, Asayo
2. 発表標題 Why do pupils in upper grades transfer from private to public school in the urban slums of Kenya?
3. 学会等名 Japan Society for Africa Educational Research, 24th Conference, Miyazaki Central Public Hall/ University of Miyazaki
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大場麻代
2. 発表標題 ケニアのスラムにおける無認可学校増加の背景
3. 学会等名 国際開発学会・人間の安全保障学会2019共催大会（東京大学駒場キャンパス）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ogawa, Miku
2. 発表標題 The role of private schools in rural Kenya: under 'truly' free secondary education policy
3. 学会等名 55th Japan Comparative Education Society, Tokyo University of Foreign Studies
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川未空
2. 発表標題 ケニア農村部における中等学校の普及と格差
3. 学会等名 第55回日本比較教育学会（東京外国語大学）ラウンドテーブル「発展途上国における教育の普遍化と格差」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ogawa, Miku
2. 発表標題 Extension of the period of 'Timepass' with the perspective of various social change
3. 学会等名 Japan Society for Africa Educational Research, 24th Conference, Miyazaki Central Public Hall/ University of Miyazaki
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小川未空
2. 発表標題 無償化政策下における低学費私立校の役割 ケニア農村部の中等学校を事例に
3. 学会等名 国際開発学会・人間の安全保障学会2019共催大会（東京大学駒場キャンパス）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小原優貴
2. 発表標題 インドの教員を捉える視点ーこれまでの研究と今後の展望
3. 学会等名 第55回日本比較教育学会（東京外国語大学）ラウンドテーブル「これからのアジアアフリカ教員政策の話しよう」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 日下部達哉
2. 発表標題 教育投資効果の格差 バングラデシュにおける二つの村の比較から
3. 学会等名 第55回日本比較教育学会（東京外国語大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kusakabe, Tatsuya and Kgadi Mathabase
2. 発表標題 Empowerment of Township Students in South Africa through the Learning Improvement Project: Toward Learning improvement for All
3. 学会等名 South Africa-Japan University Forum, Pretoria University, South Africa
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 牧貴愛
2. 発表標題 タイの基礎教育における格差是正措置
3. 学会等名 国際開発学会・人間の安全保障学会2019共催大会（東京大学駒場キャンパス）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianasoa and Nobuhide Sawamura
2. 発表標題 School to work in the rural area of Madagascar: upper secondary school children's aspiration in perspective of the new education policy
3. 学会等名 Japan Society for International Development, 20th Spring Conference, Rikuzentakata Global Campus, Iwate
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianasoa
2. 発表標題 Exploring children's readiness for school to work transition in the rural area of Madagascar
3. 学会等名 第58回アジア教育研究会（神戸大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianaso
2. 発表標題 School-to-work transition in the low-income areas of Madagascar: between the community, the household and the individual
3. 学会等名 International Education Development Forum 2019, Waseda University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Andriariniaina, Fanantenana Rianaso
2. 発表標題 Preparing school to work transition in Malagasy low-income areas: between personal aspirations and household initiatives
3. 学会等名 国際開発学会・人間の安全保障学会2019共催大会 (東京大学駒場キャンパス)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rasolonaivo, Andriamasina Rojoniaina
2. 発表標題 Exploring the disparity in the provision and needs in citizenship education in Madagascar
3. 学会等名 International Education Development Forum 2019, Waseda University (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Rasolonaivo, Andriamasina Rojoniaina
2. 発表標題 Citizenship education in the context of Madagascar: what do children, parents, and teachers expect from the school curriculum?
3. 学会等名 国際開発学会・人間の安全保障学会2019共催大会 (東京大学駒場キャンパス)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sakaue, Katsuki
2. 発表標題 The effects of teaching assistants on learning outcomes of refugees: Evidence from refugee settlements in West Nile, Uganda
3. 学会等名 第55回日本比較教育学会（東京外国語大学）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sakaue, Katsuki
2. 発表標題 The effects of the refugee crisis in a host country on primary education: The case of influxes of South Sudanese refugees in West Nile, Uganda
3. 学会等名 国際開発学会第20回春季大会（陸前高田グローバルキャンパス）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sakaue, Katsuki
2. 発表標題 The effectiveness of educational response to refugee crises within national system: Evidence from South Sudanese refugee settlements and host communities in West Nile, Uganda
3. 学会等名 2019 UKFIET: UK Forum for International Education and Training, University of Oxford
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sakaue, Katsuki
2. 発表標題 An analysis of the effects of refugees on learning achievements of local children: Evidence from host communities in West Nile, Uganda
3. 学会等名 Japan Society for Africa Educational Research, 24th Conference, Miyazaki Central Public Hall/ University of Miyazaki
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 片山信英
2. 発表標題 インドネシアにおけるコミュニティ学習センターの新たな役割：地域社会の課題解決に向けて
3. 学会等名 国際開発学会・人間の安全保障学会2019共催大会（東京大学駒場キャンパス）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 片山信英
2. 発表標題 西ジャワ州におけるコミュニティ学習センターの役割：地域コミュニティとの関係に注目して
3. 学会等名 国際開発学会第21回春季大会（龍谷大学）
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計16件

1. 著者名 澤村 信英、小川 未空、坂上 勝基（編）	4. 発行年 2023年
2. 出版社 明石書店	5. 総ページ数 408
3. 書名 SDGs時代にみる教育の普遍化と格差－各国の事例と国際比較から読み解く	

1. 著者名 澤村信英	4. 発行年 2023年
2. 出版社 学事出版	5. 総ページ数 264
3. 書名 「ケニアの学校 公教育を支えるスラム内の低学費私立学校」二宮 皓（編）『世界の学校 グローバル化する教育と学校生活のリアル』（150-157頁）	

1. 著者名 清水貴夫	4. 発行年 2023年
2. 出版社 法蔵館	5. 総ページ数 350
3. 書名 「イスラーム教育の再創造 ブルキナファソのイスラーム教育を事例として」藏本龍介（編）『宗教組織の人類学』（215-258頁）	

1. 著者名 Kawaguchi Jun, Kuroda Kazuo	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 206
3. 書名 Diffusion of inclusive education in developing countries: Malawi (Chapter 7). In P. Bacon, M. Chiba and F. Ponjaert, The Sustainable Development Goals: Diffusion and contestation in Asia and Europe	

1. 著者名 Urata, Shujiro, Kuroda, Kazuo, Tonegawa, Yoshiko (eds)	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 187
3. 書名 Sustainable Development Disciplines for Humanity: Breaking down the 5Ps-People, Planet, Prosperity, Peace, and Partnerships. Sustainable Development Goals Series	

1. 著者名 Sawamura, Nobuhide	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Langaa	5. 総ページ数 367
3. 書名 Examining International Aid and Community Self-Help from a Conviviality Perspective: Unrecognized Low-Fee Private Schools in a Slum Area of Nairobi, Kenya (pp. 271-293).	

1. 著者名 Sawamura, Nobuhide	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 808
3. 書名 Universal Primary Education: Facets and Meanings. In J. M. Abidogun and T. Falola (eds), The Palgrave Handbook of African Education and Indigenous Knowledge (pp. 637-655)	

1. 著者名 園山大祐・辻野けんま（編）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東洋館出版社	5. 総ページ数 323
3. 書名 コロナ禍に世界の学校はどう向き合ったのか 子ども・保護者・学校・教育行政に迫る	

1. 著者名 園山大祐（編）	4. 発行年 2021年
2. 出版社 福村出版	5. 総ページ数 232
3. 書名 「フランスにおける中等教育の大衆化と多様な学習保障」日本教育行政学会研究推進委員会、横井敏郎、滝沢潤、佐藤智子編『公教育制度の変容と教育行政』（45-60頁）	

1. 著者名 押川 文子（監修）、小原 優貴、茶谷 智之、安念 真衣子、野沢 恵美子（編）	4. 発行年 2022年
2. 出版社 玉川大学出版部	5. 総ページ数 263
3. 書名 教育からみる南アジア社会 - 交錯する機会と苦悩	

1. 著者名 荻巢 崇世、橋本 憲幸、川口 純 (編)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 256
3. 書名 国際教育開発への挑戦 これからの教育・社会・理論	

1. 著者名 Nishimura, Mikiko (Ed.)	4. 発行年 2021年
2. 出版社 Community participation with schools in developing countries -Towards equitable and inclusive basic education for all	5. 総ページ数 258
3. 書名 Routledge	

1. 著者名 日下部 達哉 (編)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 東信堂	5. 総ページ数 200
3. 書名 イスラーム教育改革の国際比較	

1. 著者名 坂口真康	4. 発行年 2021年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 558
3. 書名 「共生社会」と教育 南アフリカ共和国の学校における取り組みが示す可能性	

1. 著者名 澤村信英	4. 発行年 2020年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 340
3. 書名 志水 宏吉、河森 正人、栗本 英世、檜垣 立哉、モハーチ・ゲルゲイ編『共生学宣言』（分担執筆：第7章 国際的支援と住民の自助を再考する ケニア・スラムの無認可私立学校を事例として）	

1. 著者名 澤村 信英	4. 発行年 2020年
2. 出版社 大阪大学出版会	5. 総ページ数 284
3. 書名 中澤 渉、野村 晴夫編『学ぶ・教える』（分担執筆：第6章 発展途上国の学校と学びの成果）	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分担者	坂口 真康 (Sakaguchi Masayasu) (00819427)	兵庫教育大学・学校教育研究科・講師 (14503)	
研究 分担者	利根川 佳子 (Tonegawa Yoshiko) (10608186)	早稲田大学・社会科学総合学術院・准教授 (32689)	
研究 分担者	清水 貴夫 (Shimizu Takao) (10636517)	京都精華大学・国際文化学部・准教授 (34317)	

6. 研究組織 (つづき)

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	興津 妙子 (Okitsu Taeko) (20772784)	大妻女子大学・文学部・教授 (32604)	
研究分担者	大場 麻代 (Ohba Asayo) (30578828)	帝京大学・外国語学部・准教授 (32643)	
研究分担者	日下部 達哉 (Kusakabe Tatsuya) (70534072)	広島大学・IDEC国際連携機構：CICE・教授 (15401)	
研究分担者	小原 優貴 (Ohara Yuki) (70738723)	お茶の水女子大学・基幹研究院・特別研究員(RPD) (12611)	
研究分担者	園山 大祐 (Sonoyama Daisuke) (80315308)	大阪大学・人間科学研究科・教授 (14401)	
研究分担者	牧 貴愛 (Maki Takayoshi) (80610906)	広島大学・人間社会科学研究科(国)・准教授 (15401)	
研究分担者	川口 純 (Kawaguchi Jun) (90733329)	筑波大学・人間系・准教授 (12102)	
研究分担者	坂上 勝基 (Sakaue Katsuki) (80779299)	神戸大学・国際協力研究科・助教 (14501)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	小川 未空 (Ogawa Miku) (40848610)	大阪大学・人間科学研究科・助教 (14401)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	志水 宏吉 (Shimizu Kokichi)		
研究協力者	アンドリアリニアイナ ファナンテナナ・リアナスア (Andriariniaina Fanantenana Rianasoa)		
研究協力者	ラスルナイヴ アンドリアマナシナ・ルズニアイナ (Rasolonaivo Andriamasina Rojoniaina)		
研究協力者	杉田 映理 (Sugita Elli)		
研究協力者	白川 千尋 (Shirakawa Chihiro)		
研究協力者	片山 信英 (Katayama Nobuhide)		

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	長野 優希 (Nagano Yuki)		
研究協力者	山口 菜々果 (Yamaguchi Nanaka)		
研究協力者	小松 勇輝 (Komatsu Yuki)		
研究協力者	羅 方舟 (Luo Fangzhou)		
研究協力者	宮村 侑樹 (Miyamura Yuki)		
研究協力者	山田 恵里花 (Yamada Erika)		

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------